

Utsunomiya-city Cultural hall Promenade プロムナード・コンサート2026 Concert 2026

No.
157



© Makoto Kamiya



© Makoto Kamiya

辻彩奈&阪田知樹 ヴァイオリン ピアノ デュオ・リサイタル

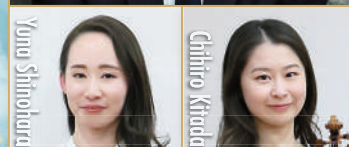
9月13日①

各地で熱狂的な称賛を浴びる大人気デュオ! 明朗な音楽性と高い分析力が共鳴しあう、唯一無二のアンサンブル!

No.
158



© Shin Yamagishi



© Miho Kakuta

ポール・メイエ クラリネット

& カルテット・アマービレ コンサート

ヴァイオリン 篠原悠那・北田千尋 ヴィオラ 中恵菜 チェロ 笹沼樹

11月29日①

名実ともに現在最高のクラリネット奏者が登場! 難関国際コンクールで3位入賞を果たす実力派カルテットとともに奏でる、驚異的な技巧と洗練された極上の音楽をご堪能ください!

No.
159



© HOSOO CO., LTD

小林愛実 ピアノ・リサイタル 12月13日①

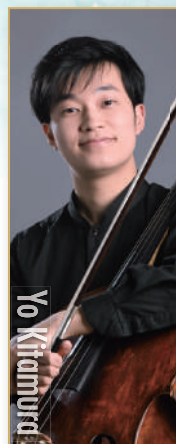
2021年ショパン・コンクール入賞を経て世界へ飛躍を遂げる小林愛実、心の深淵に迫る比類なき才能

北村陽&北村朋幹 チェロ ピアノ デュオ・リサイタル

2027年3月14日①

国内外の名誉あるコンクールで最高賞を総なめの新鋭チェリストと、深い解釈で独自の音楽像を描く俊英ピアニストによる、ダブル北村リサイタル!

No.
160



© TAKA MAYUMI

宇都宮市文化会館 小ホール 全公演 15:00開演 (14:30開場)

年間通し券

ご希望の席をお選びいただき、4公演共通の指定席とすることが出来ます。

全席指定 12,000円 (税込)

販売期間 4月25日(土)~7月12日(日)

プレイガイド ■ 宇都宮市文化会館プレイガイド

☎028(634)6244 (電話予約は発売日の14:00~)

営業時間 9:00~19:00

※第1・第3月曜(祝日の場合は翌平日)は休業。

機械保守点検日は17:00まで。

※年間通し券のオンライン販売はございません。

単券

年間通し券の販売終了後、残席を1公演ごとの単券として発売いたします。年間通し券が完売した場合、発売はございませんので予めご了承ください。

全席指定 各 3,500円 (税込)

販売期間 7月25日(土)~

プレイガイド ■ 宇都宮市文化会館プレイガイド

(電話予約は発売日の14:00~)

■ CNプレイガイド ☎0570(08)9999

<https://www.cnplayguide.com/>

※セブンイレブン・ファミリーマートで発売できます。

単券はインターネットから購入できます!

CNプレイガイド



◎未就学児の方はご入場いただけません。◎公演当日は駐車場および周辺道路の混雑が予想されます。公共交通機関をご利用の上、お時間に余裕をもってお越しください。

主催・お問い合わせ 公益財団法人うつのみや文化創造財団 (宇都宮市文化会館 ☎028-636-2121)

Utsunomiya-city Cultural hall Promenade Concert 2026 PROFILE

No.157 辻 彩奈&阪田 知樹 デュオ・リサイタル

■ 辻 彩奈 (つじ あやな) / ヴァイオリン

1997年岐阜県生まれ。東京音楽大学卒業。2016年モントリオール国際音楽コンクール第1位、併せて5つの特別賞を受賞。11歳にて名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演。これまでに、モントリオール交響楽団、スイス・ロマン管弦楽団、トゥールーズ・キャピトル管弦楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団などと共演している。2017年「岐阜県芸術文化奨励」、2018年「第28回出光音楽賞」、2023年「第24回ホテルオークラ音楽賞」を受賞。ヴァイオリンを小林健次、矢口十詩子、中澤きみ子、小栗まゆ絵、原田幸一郎、レジス・パスキエの各氏に師事。2020年、自らが権代敦彦に委嘱した「Post Festum」を世界初演。コロナ禍にあって国内公演の代役で幅広く活躍したことは、レパートリーを広く拡充すると共に、経験を深く積むことにつながった。2024年2月、愛知室内オーケストラにて「権代敦彦：時と永遠を結ぶ絃 〜ヴァイオリンとオーケストラのための（第72回尾高賞受賞）」を世界初演している。使用楽器は、宗次コレクションより貸与の JoannesBaptista Guadagnini 1748。

■ 阪田 知樹 (さかた ともき) / ピアノ

2016年フランク・リスト国際ピアノコンクール第1位、6つの特別賞。2021年エリザベート王妃国際音楽コンクール第4位入賞。第14回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて新冠19歳で最年少入賞。クリエヴァンド国際ピアノコンクールにてモーツァルト演奏における特別賞、キッシンゲン国際ピアノオリピックではベートーヴェンの演奏を評価され、日本人初となる第1位及び聴衆賞。国内はもとより、世界各地20カ国以上で演奏を重ね、国際音楽祭への出演多数。クレムリン音楽祭では、オール・リスト・プログラムによるリサイタルをニコライ・ペトロフ氏が「世界一のリスト」と絶賛。2015年CDデビュー。阪田知樹ピアノ編曲集「ヴォカリーズ」を2022年5月に、「夢のあとに」を2023年7月に、阪田の作曲した「アルト・サクソフォーンとピアノのためのソナチネ」を23年11月に音楽之友社より出版。国内外でのテレビ・ラジオ等メディア出演も多い。2017年横浜文化賞文化・芸術奨励賞、2023年第32回出光音楽賞、第72回神奈川文化賞未来賞、第20回ベストデビュータレント賞を受賞。

No.158 ポール・メイエ&カルテット・アマービル コンサート

■ ポール・メイエ / クラリネット

名実共に世界のトップに立つクラリネット奏者。1965年アルザス生まれ。13歳でソリストとしてデビュー。パリ高等音楽院とバーゼル音楽院で学ぶ。フランス国内外のコンクールで優勝後、84年NYデビュー。ベニー・グッドマンに出会い親交を結ぶ。以来世界有数のソロ・クラリネット奏者として活躍。協奏曲のレパートリーは約100曲もの数にのぼり、完璧な技術とずば抜けた音楽性、品のある豊かな音色を併せ持つ天才クラリネット奏者として、ベリオ、ペンデレツキを始めとする数多くの作曲家達から曲を捧げられ、初演も多い。室内楽でも活発な活動を行っており、クレメール、ヨーヨー・マ、デセイ、ピリス、ロストロポーヴィチ、スターン、バシュメット、パユ等世界一流のソリスト達、及び、エマーソン、ハーゲン、東京カルテット等の弦楽四重奏団とも共演。パユやオーボエのフランソワ・ルルー等、現代最高のフランスの木管奏者達とアンサンブル「レ・ヴァン・フランス」を結成し、絶賛されている。デンオン、CBS、エラート、BMG ファンハウス他多数のレーベルでCDが発売され、その中にはギドン・クレメールとのピアノソナタ (ECM / ノンサッチ)、ブーランクの室内楽 (BMG)、ジョン・ミンフン、ギル・シャハム、ジャン・ワンとのメシアン「世の終わりのための四重奏曲」(ドヴィ・グラモフォン)、ピアノのエリック・サージュと録音したライネッケ、メンデルスゾーン、ヴェーバー (デンオン) 及びブラームスのクラリネット・ソナタ (BMG) 等がある。著名なクラリネット奏者として活躍する一方、指揮者としてのキャリアも急速に築きつつある。これまでに、フランス国立放送フィルを始めとするヨーロッパ各地の主要オーケストラ、台北交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団等を指揮。ルイス・サダのモーツァルト及びハイドンの2枚のCDのほか、ミヨーの協奏曲集のCDでも指揮者を務めている。ソウル・フィルハーモニー交響楽団の准首席指揮者を経て、2010年〜2012年12月東京佼成ウインドオーケストラの首席指揮者を務めた。〔使用楽器：ビュッフェ・クランボン Divine & Tradition〕
オフィシャル・ホームページ：http://www.paulmeyer.fr/

■ カルテット・アマービル

篠原 悠那 (しのはら ゆうな)・北田 千尋 (きただ ちひろ) / ヴァイオリン、中 恵菜 (なかめぐな) / ヴィオラ、笹沼 樹 (ささぬめ たつき) / チェロ

2016年9月難問で知られる第65回ARDミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門第3位に入賞、あわせて特別賞 (コンクール委嘱作品の最優秀解釈賞) を受賞。2019年11月には、ニューヨークで行われたヤングコンサートアーティスト国際オーディションで第1位を獲得。2015年桐朋学園大学在籍中のメンバー (Vn.篠原悠那、北田千尋、Va.中恵菜、Vc.笹沼樹) により結成された。磯村和英、山崎伸子に師事。2016年第10回横浜国際音楽コンクール第1位及び全部門グランプリ受賞。第12回ルーマニア国際音楽コンクール第1位、第12回ミュゼックアカデミーinみやざき講師特別賞、第26回リゾナーレ室内楽セミナー奨励賞、第38回霧島国際音楽祭賞、堤剛音楽監督賞を受賞。松尾学術振興財団より第26〜28回、第30回松尾音楽助成・奨励を受ける。2021年3月ホテルオークラ音楽賞受賞。2020年よりハクジュホール「BRAHMS Plus」シリーズ、2021年より王子ホール「ベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲演奏会」シリーズに取り組んでいる。マルタ・アルゲリッチ、クシシュトフ・ヤブウォンスキ、ダン・タイ・ソン、ポール・メイエ、エリック・ヴィトマン、キリル・ゲルシュタインらと共演。

No.159 小林 愛実 ピアノ・リサイタル

■ 小林 愛実 (こばやし あいみ) / ピアノ

2021年10月「第18回ショパン国際ピアノコンクール」第4位入賞。1995年山口県宇部市出身。3歳からピアノを始め、7歳でオーケストラと共演、9歳で国際デビューを果たす。これまでに、スピヴェコフ指揮モスクワ・ヴァルトトゥオーゾ、ブリュッヘン指揮18世紀オーケストラ、ジャッド指揮ブラジル響、ボスカ指揮チューリヒ・トーンハレ管、ソビエフ指揮ミュンヘン・フィルハーモニー管など国内外における多数のオーケストラと共演。2010年14歳でEMI ClassicsよりCDデビュー。サントリーホールで日本人最年少となる発売記念リサイタルを開催した。翌2011年にはセカンドアルバム「熱情」をリリース。2015年10月「第17回ショパン国際ピアノコンクール」ファインリストとなった。2018年4月、ワーナークラシックスよりCD「ニュー・ステージ〜リスト&ショパンを弾く」をリリース。同年8月には、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭に出演し好評を得た。2021年8月ワーナークラシックスよりCD「ショパン：前奏曲集 他」をリリース。2024年11月に最新CD「シューベルト：4つの即興曲 作品142、ピアノ・ソナタ第19番 ハ短調、ロンド イ長調 (連弾) 他」をリリース。フィラデルフィア・カーティス音楽院で、マンチェ・リュウ教授のもと研鑽を積んだ。2022年3月、第31回出光音楽賞受賞。

No.160 北村 陽&北村 朋幹 デュオ・リサイタル

■ 北村 陽 (きたむら よう) / チェロ

2004年生まれ。2024年エネスク国際コンクール・チェロ部門で日本人初優勝、同年カザルス国際賞第1位、23年ブラームス国際コンクール第1位。英国の弦楽器専門誌「The Strad」にて「卓越した音楽的才能の持ち主」と評される。日本音楽コンクール第1位増沢賞ほか5つの賞を受賞。22年ハチャトゥリヤン国際コンクール第2位、17年若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール優勝。9歳でオーケストラと初共演、11歳でサントリーホールデビュー。M.ホーネック、S.ヴァイグレ、G.アントニーニ、小林研一郎、井上道義、高関健、大友直人、藤岡幸夫、山田和樹など、国内外を代表する指揮者および楽団と多数共演。第52回江副記念リクルート財団奨励学生。現在、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマ・コースで堤剛、ベルリン芸術大学でJ.P.マインツに師事。これまでに山崎伸子、室内楽を磯村和英諸氏に師事。25年より庄司紗矢香率いる室内楽グループ「新ダヴィッド同盟」の新メンバーとして加入。齋藤秀雄メモリアル基金賞、出光音楽賞、ジャン＝ニコラ・フィルメニッヒ賞、ホテルオークラ音楽賞、服部真二音楽賞受賞。使用楽器は上野製楽株式会社より1668年製カッシーニ、弓は住野泰士コレクションよりベルソワを貸与されている。

■ 北村 朋幹 (きたむら ともき) / ピアノ

愛知県生まれ。浜松国際コンクール第3位、シドニー国際コンクール第5位、ボン・テレコム・ベートーヴェン国際コンクール第2位入賞。第3回東京音楽コンクールにおいて第1位ならびに審査員大賞 (全部門共通) 受賞以来、独自のプログラミング・センスで展開するソロリサイタルをはじめ、オーケストラとの共演、室内楽、古楽器による演奏活動を日本とヨーロッパ各地で定期的に行っている。録音は、6タイトルのソロアルバムをフォンテックよりリリースし、2021年録音の「ケージ プリベアド・ピアノのためのソナタとインターリュード」は令和3年度 (第76回) 文化庁芸術祭賞 レコード部門 優秀賞を受賞。また2023年録音の「リスト 巡礼の年 全3年」ほかの成果が「美的にも知的にも余人を圧倒する音楽家の出現」と評価され、令和6年度 (第75回) 芸術選奨 音楽部門 文部科学大臣新人賞受賞。2026年には武満徹「アステリズム」等を収録した新譜を発売予定。第22回佐治敏三賞受賞。東京藝術大学に入学後、2011年よりベルリン芸術大学ピアノ科で学び最優秀の成績で卒業。またフランクフルト音楽・舞台芸術大学では歴史的奏法の研究に取り組んだ。ベルリン在住。